

個人質問

雨水流せば洪水・溜めれば資源
水害防止対策とCO2削減について

古場 正春



問 新築の際、太陽光発電と雨水枘設置義務化補助は如何か。

市長 CO2削減対策としての太陽光発電については、地球温暖化防止対策の1つとして有効であることは十分認識しています。しかしながら、国では各家庭への太陽光発電の設置費補助制度は、平成17年度に廃止となったことから、市単独補助金は困難と考えています。

識 していますので、今後雨水浸透枘の設置について普及促進を図っていききたいと考えています。

問 八街市全体の建物の屋根に1時間約20ミリの雨が降った場合の水の量というものは、大体どのくらいか何う。

建設部長 課税課の資料によると、八街市の建築物の総数は、約3万3千棟です。1棟当たりの屋根面積、大体2階が多いので、100平方メートル、30坪と仮定すると、20ミリで6万6千トンになります。

問 本市における年間の新築件数を伺う。また、その建物に1時間20ミリの雨が降った場合の水の量を伺う。

建設部長 平成18、19年度の平均で計算すると、約280軒です。水の量は560トンです。

問 建築主に対し、新築・増築の際、雨水貯留槽、浸透有効利用施設の設置の届け出を義務づけては如何か。

建設部長 義務化は、難しいものと考えています。一定規模以上の営利を目的とする集合住宅、スーパー、ビル、工場等への雨水貯留槽、浸透有効利用施設の設置を条例化できないか。

建設部長 大規模な建物等については、宅地開発指導要綱で、雨水・排水の指導を行っています。また、その利用については、事業者、その所有者の個人、あるいは企業努力で行っていただきたいと考えています。

問 8月29日のゲリラ豪雨により流された自動車



問 防災問題について

8月5日のゲリラ豪雨の被害状況は如何か。

市長 床下浸水11世帯、道路冠水8カ所、土砂流出1カ所、落雷による火災が3件です。

問 防災無線の個別受信機について伺う。

市長 個別受信機は90台、行政区長、火災連絡所、防災関係者に貸与されており、個人へは貸与していません。

個人質問

災害情報の共有へ、ハザードマップ作成を提案

桜田 秀雄



問 まちづくりについて

平成19年に市民参加協働条例を整備することになっていたが、遅れている理由は何か。

市長 まだ、研究の段階であり、策定作業に入るに至っていません。

問 史跡「小間子牧野馬捕込跡」の管理について伺う。

教育長 小間子牧野馬捕込跡の所有者は八街市です。史跡を良好な状態で管理できよう、指定文化財の保護に努めていきます。

問 市道文違10号線、路肩崩落防止対策について伺う。

市長 現在水道工事を実施しており、来年度の本復旧工事とあわせて実施する予定です。

問 税制問題について

「落花生の郷やちまた応援寄附金」の現状について伺う。

市長 現在2件、62万8千481円で「便利で快適な街」、「安全で安心な街」に使用指定した寄附を頂いています。

問 その他の質問

千葉県地震被害想定調査結果について

かつては、この土手を使い野馬を追い込んで捕らえた



小間子牧野馬捕込跡とは？

江戸時代、佐倉七牧の一つであった小間子牧において、野馬を追い込んで捕らえるために造られた重要な施設で、近世牧を象徴する極めて貴重な文化財です。